

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-526683 (P2004-526683A)

【公表日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-034

【出願番号】特願 2002-549736 (P2002-549736)

【国際特許分類】

C 0 7 D 491/113 (2006.01)

C 0 8 F 2/40 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 491/113

C 0 8 F 2/40

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

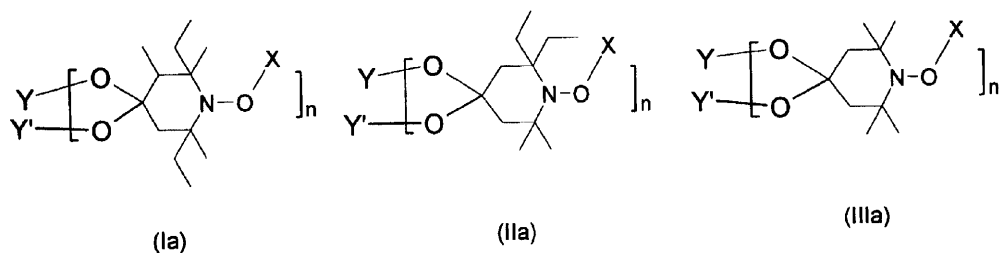
【補正の内容】

【請求項 1】

a) 少なくとも 1 つのエチレン性不飽和モノマー又はオリゴマー、及び

b) 式 I a、II a 又は III a

【化 1】

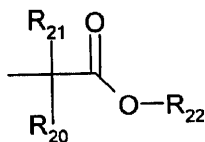


[式中、

n は 1 又は 2 を表し、

X は、 $-\text{CH}_2-$ フェニル基、 $\text{CH}_3\text{CH}-$ フェニル基、 $(\text{CH}_3)_2\text{C}-$ フェニル基、(炭素原子数 5 ないし 6 のシクロアルキル) $_2\text{CCN}$ 、 $(\text{CH}_3)_2\text{CCN}$ 、 $-\text{CH}_2\text{CH}=\text{CH}_2$ 、 $\text{CH}_3\text{CH}-\text{CH}=\text{CH}_2$ 、3 - シクロヘキセニル基、3 - シクロペンテニル基、(炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル) $\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-$ フェニル基、(炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル) $-\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-$ (炭素原子数 1 ないし 4 の) アルコキシ基、(炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル $-\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-$ (炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル基、(炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル $-\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-$ N - ジ (炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル基、(炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル $-\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-$ NH (炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル基、(炭素原子数 1 ないし 4 の) アルキル $-\text{CR}_{20}-\text{C}(\text{O})-\text{NH}_2$ 及び式

【化 2】



(式中、 R_{20} は、水素原子又は(炭素原子数1ないし4の)アルキル基を表し、 R_{21} は、水素原子、炭素原子数1ないし4のアルキル基又はフェニル基を表し、及び R_{22} は、未置換の又はOH又はN(R_{20})(R_{21})によって置換された、もしくはO又はN(R_{20})によって中断された炭素原子数1ないし12のアルキル基を表す。)

で表される基からなる群から選択され；

もしもnが1の場合、

Y及びY'は、独立して、炭素原子数1ないし12のアルキル基、炭素原子数3ないし12のアルケニル基、炭素原子数3ないし12のアルキニル基、炭素原子数5ないし8のシクロアルキル基、フェニル基、ナフチル基、炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基を表すか；又は

Y及びY'は、一緒になって二価の基、 $-C(R_1)(R_2)-CH(R_3)-$ 、 $CH(R_1)-CH_2-C(R_2)(R_3)-$ 、 $-CH(R_2)-CH_2-C(R_1)(R_3)-$ 、 $-CH_2-C(R_1)(R_2)-CH(R_3)-$ 、o-フェニレン基、1、2-シクロヘキシリデン基、 $-CH_2-CH=CH-CH_2-$ 又は

【化3】



の一つを形成し、ここで、 R_1 は、水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、COOH、COO-(炭素原子数1ないし12の)アルキル基又は CH_2OR_4 を表し；

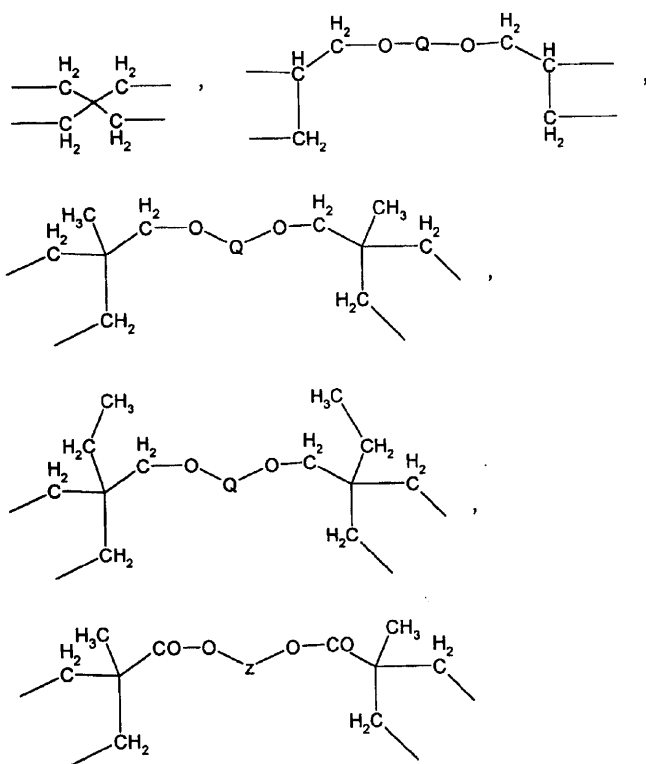
R_2 及び R_3 は、独立して、水素原子、メチルエチル基、COOH又はCOO-(炭素原子数1ないし12の)アルキル基を表し；

R_4 は、水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、ベンジル基、又は18個までの炭素原子を有する、脂肪族、脂環式もしくは芳香族一価カルボン酸から誘導された一価のアシル残基を表し、；

もしもnが2の場合、

Y及びY'は、一緒になって、四価の基

【化4】



(式中、Qは、炭素原子数2ないし12のジカルボン酸又は炭素原子数1ないし2のアルキレン基から誘導されたビスアシル残基を表し、；及びZは、炭素原子数1ないし2のアルキレン基を表す。)の一つを形成する。]で表される化合物を含む重合性組成物。